

会 議 録（詳細版）

会 議 名	令和 7 年度第 3 回米原市地域公共交通活性化協議会
開 催 日 時	令和 8 年 3 月 17 日（火）午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分
開 催 場 所	米原市役所本庁舎 3 階 会議室 3 AB
出席者および欠席者	出 席 者：柳原会長、坂副会長、喜多畑委員、濱委員、中野委員、美濃部委員、 中川委員、村山委員、北村委員、塚田委員、野村委員、糸委員 奥村委員、大澤委員、岡田委員、西林委員 欠 席 者：福島委員、松尾委員、池田委員、宮崎委員、庄委員 事 務 局：米原市地域振興課 松村課長、大塚補佐、安達主任
議 題	協議第 1 号 乗合タクシー停留所の新設について（2 箇所） 報告第 2 号 報告第 1 号 乗合タクシーまいちゃん号の運行最適化に関する基本方針について
結 論	・協議第 1 号について、全員一致で承認された。 ・報告第 1 号について、事務局からの説明および委員間の詳細な意見交換が行われ、次年度に協議事項として提案することとされた。
審 査 経 過	1 開会 2 あいさつ 3 議事 協議第 1 号 乗合タクシー停留所の新設について（2 箇所） （事務局から別添資料に基づき説明） 【質疑・意見等】 特になし 【審議結果】 全員賛成のため、承認された。 報告第 1 号 乗合タクシーまいちゃん号の運行最適化に関する基本方針について （事務局から別添資料に基づき説明）
事務局	
事務局	
会長	近畿大学での研究結果「デマンド型乗合タクシーの利用者特性および生活の質への影響に関する研究」について、別添資料に基づき、まいちゃん号が交通弱者の社会参加と QOL を支える重要なインフラであるとの分析が報告された。
委員	【質疑・意見等】 定額制（貸切固定制）への移行で、なぜ経費が削減できるのか。
事務局	現在はメーター料金制で、アナログ配車のため「乗り合わせ」ができず新しい車両を

	出すことが多い。AI 導入により、「何分後に行きます」と時間を即時確定・指定できるため、複数の予約を 1 台に集約しやすくなる。これにより必要車両数を 10 台から 5 台に削減でき、貸切料金にすることでコストを抑制できる。
委員	メーター制から貸切固定制になると、タクシー会社が不利（損）にならないか。ウィンウィンの関係が保てるのか。
事務局/委員	現在、まいちゃん号に 10 台充てているため、ピーク時に観光やビジネスの一般タクシー需要に応えきれしていない実態がある。まいちゃん号を 5 台の固定専用車両に集約できれば、残りの 5 台を一般営業に回せるため、地域交通の維持と事業収益の確保を両立できる。
委員	先進事例はあるか。
事務局	県内では竜王町、日野町、全国では長野県佐久市などで AI オンデマンド交通の実績がある。
会長	利用者が少ない地域で AI を導入する例は多いが、米原市のように利用者が右肩上がりの地域で AI 化することは、さらなる効率化に非常に有効である。
委員	歩行困難な方のための「自宅前停留所」などの導入は、福祉サービス化して際限なく広がる懸念はないか。タクシー事業との線引きはどう考えるか。
事務局	利用対象者を要支援・要介護者や障がい者などに限定し、認定制にすることで歯止めをかける。単なる利便性向上ではなく、引きこもり防止などの福祉的側面を重視し、すでに連携している福祉部局の取組みとの関係も強化したい。
委員	高齢者から「使い方がわからない」という声を聞く。実際に予約から買い物までを体験する会を実施したところ、「これなら使える」との評価をいただいた。今後もこうした体験会を継続してほしい。
事務局	体験によって利用が定着するため、今後も積極的に取り組みたい。
委員	財政負担が 1 億円を超える中、どこまで予算を投入し続けるのか。
事務局/会長	構造を変えるために今回の最適化を行う。公共交通への投資は、高齢者の健康維持や社会参加を促し、結果として介護費用や医療費の抑制につながる「投資」としての側面がある。他自治体や海外の事例でも、公共交通への公的支出は一般的になりつつある。

委員	シルバー人材センターの利用者からも、使い方が難しい、最初の申請がネックだという声がある。もっと気楽に使えるようにならないか。
事務局	現在の複雑な予約・配車構造を AI で単純化する。LINE 予約においても、文字入力なしでアイコン選択のみで完結するような、誰でも説明しやすいシステムを目指す。
委員	20 年前に策定された米原駅のバリアフリー基本構想の評価や、現状の施設改善が必要ではないか。
事務局	時間の経過に伴う再評価や、バリアフリーにおける地域公共交通の在り方は検討する必要があると感じている。
委員	コスト削減だけでなく、収入（収益）を上げる努力も必要ではないか。近江鉄道の 100 円切符のような面白い企画はどうか。
事務局	コミュニティ交通は民間で維持できない赤字部分を公費で支える側面があり、黒字化は極めて難しい。近江鉄道の 100 円切符も、市町が線路の維持費を負担する「上下分離方式」への移行による努力の一環である。
委員	実際に乗合タクシーを利用して、現状の市民等割引パスポートの「市内おとな 500 円」は安すぎると感じる。中高生の通学などは、親の送迎コストを考えれば 300 円からもう少し上げて理解が得られるのではないか。
事務局	需要に影響が出ない範囲で、地域交通計画で掲げた収支率目標を目指して、料金設定を検討したい。
委員	利用者負担はもっと求めているのではないか。買い物支援なら、店舗からの補助も求めるべきではないか。また、ライドシェアの検討はどうか。
事務局	市外利用者の料金引き上げは検討をしているところである。 ライドシェアは運転手の確保や安全性の課題がある。まずは今回の乗合タクシーの運行最適化にてサービス向上を図り、その次の検討としてライドシェアを検討したい。
委員	スマホアプリ（GO や Uber）のように、タクシーを今すぐ呼べてすぐ来るような利便性は追求できないか。
委員	一般タクシーとしては既に導入済みである。

委員	行政の役割として困っている人への予算投入は大事だが、事業者の経営が成り立たなくなれば市民が困る。バランスを考慮した施策を望む。
	【審議結果】 事務局において議論を踏まえた検討を継続し、次年度に協議事項として提案することとされた。 4 その他 健康診断ガイドへのまいちゃん号情報の掲載や、広報紙での周知報告がなされた。 以上
事務局	

会議の公開・ 非公開の別	■公開 傍聴者： 0人 ☐一部公開 ☐非公開 一部公開または非公開とした理由 ()
会議録の開 示・非開示の 別	■開示 ☐一部開示（根拠法令等：) ☐非開示（根拠法令等：)
全部記録の有 無	会議の全部記録 ☐有 ■無 録音テープ記録 ☐有 ■無
担 当 課	米原市地域公共交通活性化協議会事務局 (米原市役所市民部地域振興課内)